

全財務局 管内経済情勢報告

	前回（４年７月判断）	今回（４年１０月判断）	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、物価高に伴う実質購買力の低下懸念はあるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約や原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
財務局名	前回（４年７月判断）	今回（４年１０月判断）	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。観光は、感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
東北	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが5G基地局向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
関東	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、家電販売額、ホームセンター販売額が前年を下回っている一方で、百貨店販売額、スーパー販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直しており、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、生産用機械、輸送機械などが増加しており、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
北陸	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、百貨店・スーパー販売が持ち直しつつあることなどから、全体では持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが持ち直しに向けた動きに一服感がみられるものの、化学が持ち直していることや生産用機械が拡大しつつあることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
東海	<u>緩やかに回復している</u>	<u>緩やかに回復している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、総じてみれば、回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
近畿	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、足下では感染が落ち着き、外出機会の増加に伴い、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響が緩和され、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。
中国	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直している。
四国	<u>持ち直しつつある</u>	<u>持ち直しつつある</u>	→	個人消費は、家電大型専門店、ホームセンターが弱含んでいるものの、スーパーに底堅さがみられ、コンビニエンスストア、観光等が緩やかに持ち直していることから、全体としては持ち直しつつある。生産活動は、汎用・生産用機械が緩やかに持ち直している中、食料品で持ち直しに向けた動きが緩やかになっているほか、パルプ・紙で持ち直しに向けた動きに一服感がみられることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
九州	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、百貨店・スーパー販売やコンビニエンスストア販売が持ち直しているほか、宿泊などサービス消費でも持ち直しの動きが続いていることから、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械が高水準で推移していることから、持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。
福岡	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しつつある。
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 <u>持ち直しつつある</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	↔	個人消費は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア販売が、外出機会の増加に伴う動きがみられるほか、観光地周辺店舗が好調なことなどから、持ち直しつつある。観光は、旅行需要の高まりから、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

(注) ※ ４年１０月判断は、前回７月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。
 ※ 下線部が基調判断。